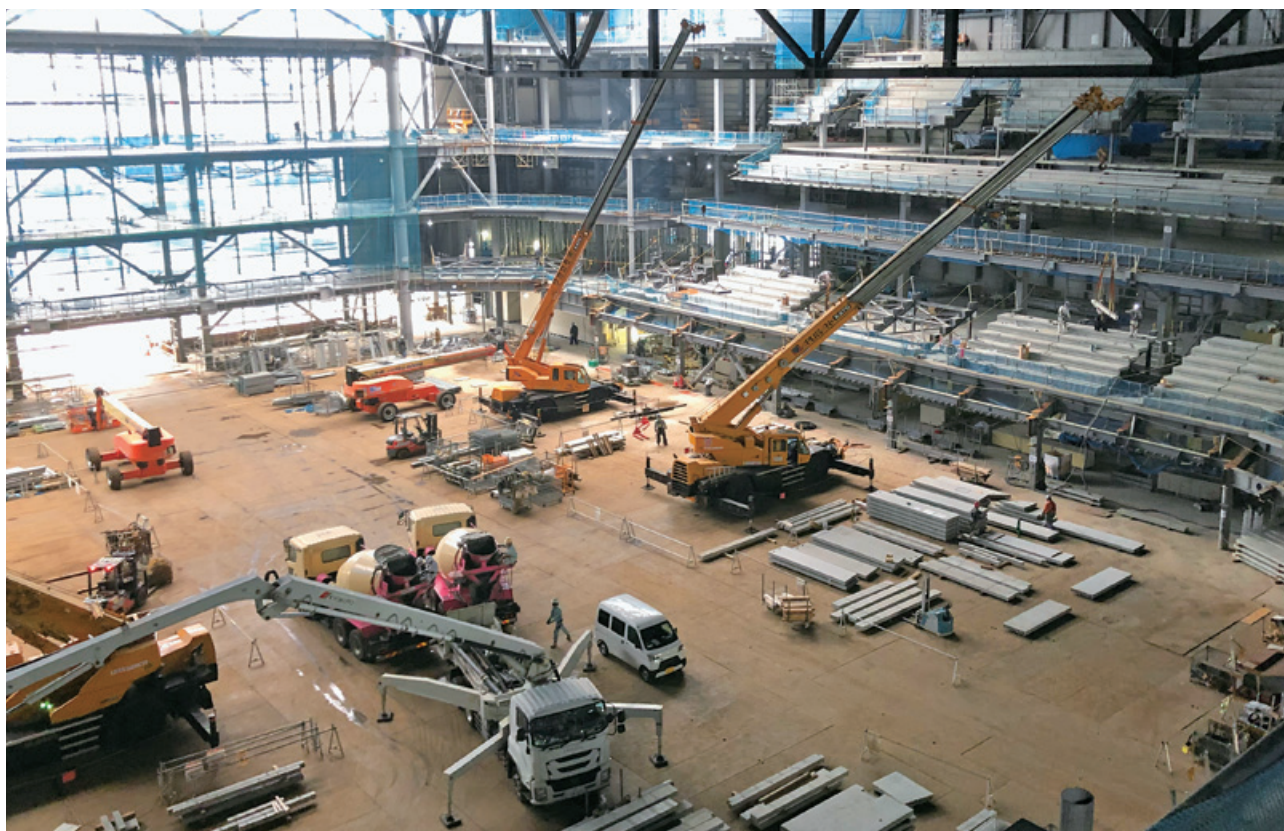


SPANCRETE CORPORATION

Investors' Guide IR 2023

会社情報



屋内スポーツスタジアムの観客席段床に採用されました

株式会社 スパンクリートコーポレーション

〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-8 本郷三丁目THビル5階

Tel:03-5689-6311 Fax:03-5689-6321

www.spancretecorp.com

〈東証スタンダード市場・コード 5277〉

● みなさまとのコミュニケーションを大切に ●

インベスターズガイドについて

インベスターズガイドは、株主ならびに投資家のみなさまに、当社の財務内容を正確にお伝えするとともに、みなさまとのコミュニケーションの手段として発行を続けてまいりました。毎年約100通のアンケートの回答をいただき、ご意見の一部を編集に反映させていただいております。今後ともみなさまからのご意見をいただきたいと存じますので、同封のアンケート用ハガキにてお寄せいただければ幸いです。

■ 2023年3月期について

当グループの事業環境は、当社主力製品の原材料であるセメント、PC鋼線、またエネルギー費並びに輸送費が急激に高騰し製造原価を押し上げる原因となりました。

このような事業環境の下、スパンクリート事業は、他社製品との価格競争激化による大型案件失注やコロナ禍による案件着工遅延、原材料高騰による製造原価上昇コストを販売価格へ転嫁できなかったことが影響し、営業損失を計上しました。不動産事業は、オフィスビル賃料収入により堅実な業績でありました。プレキャスト事業は、主な契約先からの安値受注を余儀なくされ、営業損失が拡大しました。

その結果、当期の当社グループの業績は、売上高2,268百万円（前年度比11.9%減）、営業損失511百万円（前年度は営業損失382百万円）、経常損失504百万円（前年度は経常損失385百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失548百万円（前年度は親会社株主に帰属する当期純損失274百万円）となりました。

■ 事業部門別

<スパンクリート事業>

当事業は、大型物流倉庫の失注、電力事業の着工遅延による売上数量が計画未達成のなか、生産体制の見直しによる固定費削減に努めました。しかしながら、PC鋼線など原材料、エネルギー費、輸送費等の急激な価格高騰を販売価格に転嫁しきれず、売上高は1,580百万円（前年度比18.8%減）、セグメント損失295百万円（前年度はセグメント損失250百万円）となりました。

また、技術の開発を継続して行っていた「超薄物成型製品」は一定の目途が立ち、顧客との設計仕様は最終調整段階に入っています。

<不動産事業>

当事業は、賃貸用不動産が高稼働率を維持し、安定した賃料収入を得ており、売上高は233百万円（前年度比0.0%増）、セグメント利益115百万円（前年度比3.6%増）と増収増益となりました。

<プレキャスト事業>

当事業は、生産量に対応した品質管理の徹底、物流費を含めた諸コストの見直し及び生コンの内製化による製造原価の削減、受注・生産量の平準化に向けた製品の確保を目指しましたが、主な契約先からの安値受注を余儀なくされ、計画が未達となり、売上高454百万円（前年度比15.1%増）、セグメント損失331百万円（前年度はセグメント損失243百万円）となりました。

ESG・SDGsへの取り組み

□ グリーンイノベーション

『グリーンイノベーション基金事業』とは、2050年カーボンニュートラルの目標達成に向け、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）に2兆円の基金を造成し、官民で野心的かつ具体的な目標を共有し、これに経営課題として取り組む企業等に対して、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援する事業です。

当社は、幹事会社（鹿島建設株式会社、株式会社デンカ、株式会社竹中工務店）が、NEDOより公募された『グリーンイノベーション基金事業/CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト』のコンクリート分野における技術開発提案に民間企業の1社として参画いたします。

本プロジェクトにおいて当社は、生産過程でCO₂発生量を抑制したセメントや予めCO₂を吸着させた骨材を使用した製品の製造を目指し、社会課題である温室効果ガスの削減に貢献してまいります。

ひとこと

2023年3月23日、当社は60周年を迎えました。営業損失計上の中、創業60周年を迎えることが出来ましたのも、株主様をはじめとするステークホルダーの皆さまのお陰であると感謝申し上げます。記念すべき60周年ではありますが、4期連続の営業損失計上について、大変心苦しく思っております。原材料・エネルギー等のコストの上昇が留まらない中、今期も厳しい状況の継続が予想されており、株主の皆さま方には、中長期的なスパンで当社をお見守りいただければとお願いする次第でございます。

なお、第61回定時株主総会において、資本金の額を1億円まで減少することを決議いたしましたので、お知らせ申し上げます。

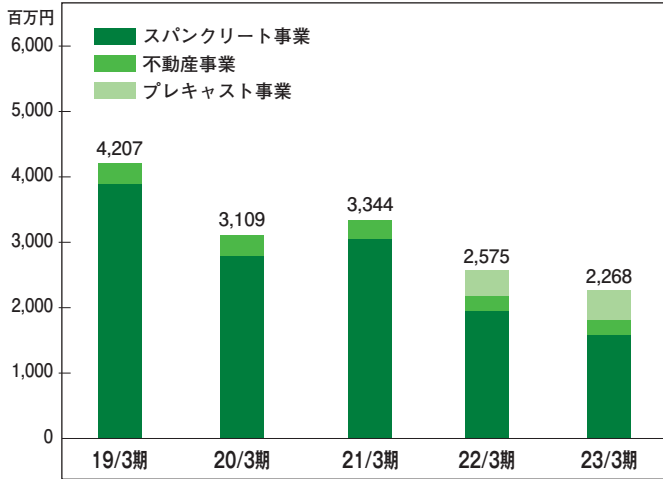
代表取締役社長

木山典子

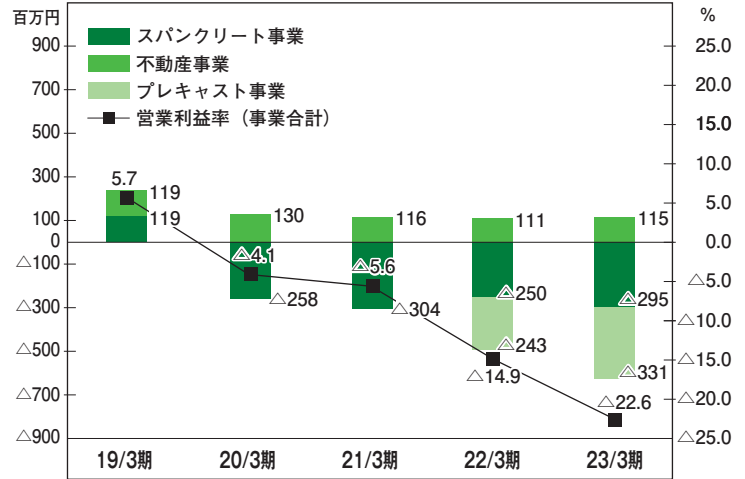
第61期財務ハイライト(2023年3月期)

※2022年3月期より連結決算へ移行しております。比較のための参考情報として、2021年3月期以前は単体実績を表示しております。

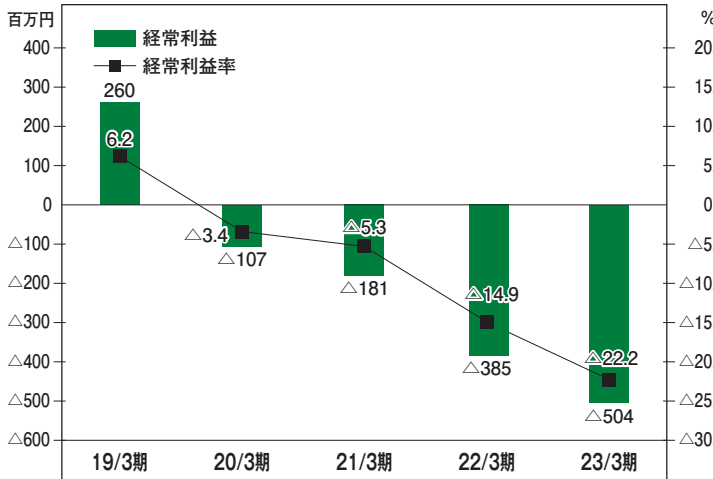
売上高



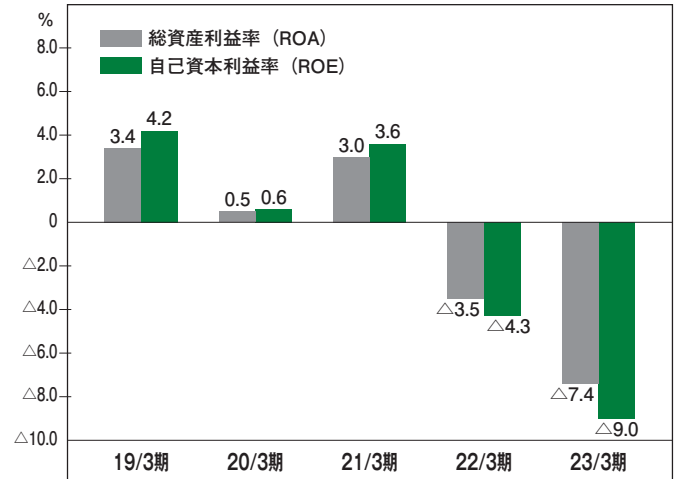
営業利益



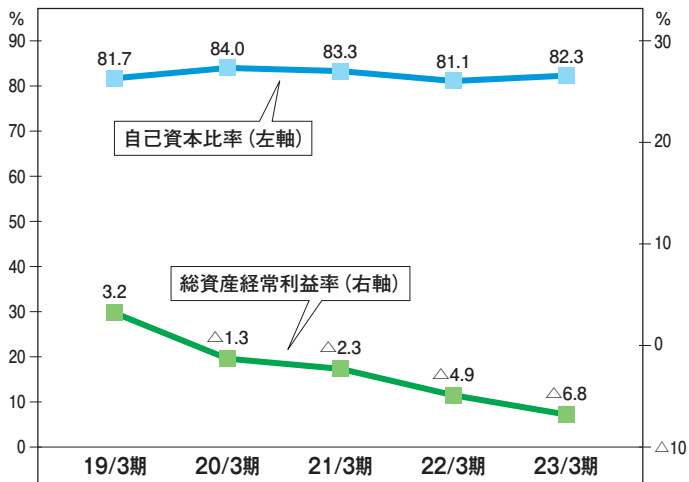
経常利益



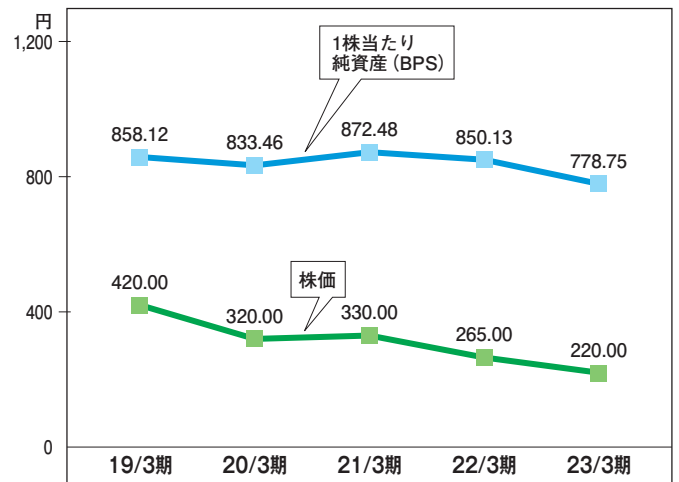
総資産利益率・自己資本利益率



自己資本比率と総資産経常利益率



株価と1株当たり純資産 (BPS)



貸借対照表要旨〈資産の部〉

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期	23/3期
資産の部			
流動資産	3,874	3,709	3,232
固定資産	4,284	4,100	3,809
有形固定資産	3,898	3,866	3,585
無形固定資産	19	7	3
投資その他の資産	366	226	220
資産合計	8,159	7,810	7,042

貸借対照表要旨〈負債・純資産の部〉

(単位：百万円)

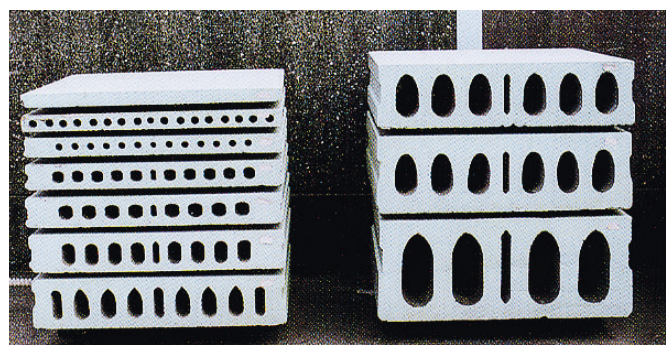
	21/3期	22/3期	23/3期
負債の部			
流動負債	921	827	829
固定負債	439	428	403
負債合計	1,361	1,256	1,233
純資産の部			
株主資本	6,371	5,937	5,418
資本金	3,295	3,295	3,295
資本剰余金	3,010	3,010	3,010
利益剰余金	418	82	△436
自己株式	△353	△451	△451
その他の包括利益累計額	426	394	374
その他有価証券評価差額金	136	105	114
土地再評価差額金	289	289	260
非支配株主持分	—	222	16
純資産合計	6,797	6,554	5,809
負債純資産合計	8,159	7,810	7,042

損益計算書要旨

(単位：百万円)

	21/3期	22/3期	23/3期
売上高	3,344	2,575	2,268
売上原価	2,867	2,418	2,371
販売費及び一般管理費	664	540	408
営業損失	△188	△382	△511
営業外収益	12	8	10
営業外費用	4	10	3
経常損失	△180	△385	△504
特別利益	995	116	—
特別損失	361	100	257
税引前当期純利益	454	△368	△762
法人税、住民税及び事業税	83	3	5
法人税等調整額	130	△0	△13
当期純利益	240	△371	△754

スパンクリートとは



スパンクリート標準製品。スパンクリートは縦方向に数個の穴をもち、PC鋼線によってプレストレスを与えられたコンクリート板です。床材として、また壁材として建築から土木まで多目的に使用可能な材料です。厚さ7cmから35cmまで17種類。高耐力、ロングスパンが特長です。当社はスパンクリートの生産・販売を行っております。

スパンクリートの特長

高強度部材で大スパンに適します



防水性に優れています



防火性に優れています



遮音性に優れています



今期の主な実績



〈コンベンションセンター〉
板長12mの長尺パネルが外壁に採用されました



〈土留め壁〉
スパンクリートの耐久性と美観が評価され、床板が土留め壁として採用されました



〈タワーマンション〉
板長8m×厚さ200mmという長スパンの床板により工期の短縮に貢献いたしました



〈鉄道駅〉
従来のホーム床に加え、線路に接する化粧壁が新駅に初めて採用されました



〈運河遊歩道〉
水辺での耐久性、防滑性が認められ幅員5mの遊歩道に採用されました

資料請求、お問い合わせは…

株式会社スパンクリートコーポレーション
IR担当 西澤智博 的場 舞
〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-8 本郷三丁目THビル5階
電話 03(5689)6311

制作協力:

株式会社プロネクサス
営業第4部 大木 整
〒105-0022 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング
電話 03(5777)3161

会社の概要

1. 会社名 株式会社スパンクリートコーポレーション
(英文名) SPANCRETE CORPORATION
2. 設立 1963年(昭和38年)3月23日
3. 資本金 32億9,590万円(2023年3月31日現在)
4. 役員 代表取締役社長 村山典子
常務取締役 柳田洋明
* 取締役 坪井哲明
* 取締役 蒲野宏之
** 常勤監査役 一瀬茂雄
** 監査役 鈴木誠
** 監査役 山田浩二

相談役 浮田 聡
(2023年6月23日現在)

*は社外取締役です
**は社外監査役です

5. 事業所・本社 東京都文京区本郷2-40-8
本郷三丁目THビル5階
〒113-0033 TEL(03)5689-6311
- ・宇都宮工場 栃木県宇都宮市平出工業団地8-5
〒321-0905 TEL(028)661-2211
- ・岩瀬工場 茨城県桜川市岩瀬2161番地1
(岩瀬プレキャスト(株)) 〒309-1211 TEL(0296)75-5711
(2023年6月23日現在)

6. 取引銀行 みずほ銀行
三菱UFJ銀行
みずほ信託銀行

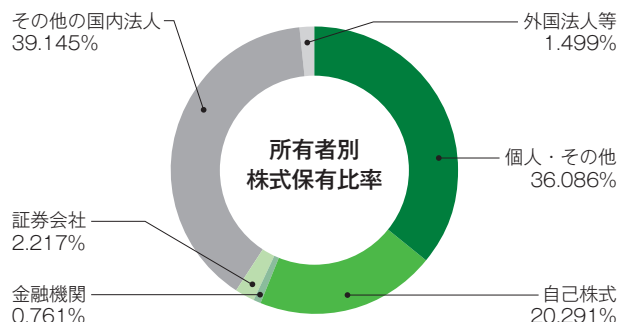
主要取引先

- 設計事務所 三菱地所(株)・(株)日建設計・(株)日本設計・東電設計(株)・
(株)松田平田設計・(株)梓設計・(株)今川建築設計事務所・
(株)横河建築設計事務所・(株)ジェイアール東日本建築設
計事務所・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構・
(株)久米設計・(株)石本建築事務所・(株)山下設計・(株)ユ
ニバサル設計 他
- 商社 三菱商事建材(株) 他
- 建設会社 鹿島建設(株)・大成建設(株)・清水建設(株)・(株)竹中工務店
(株)大林組・前田建設工業(株)・戸田建設(株)・西松建設(株)
東急建設(株)・(株)ピーエス三菱・鉄建建設(株)・(株)浅沼組 他

株式の状況

- 発行可能株式総数 28,824,000株
- 発行済株式の総数 9,332,400株
- 自己株式 1,893,674株

株主構成



会社の沿革

- 1963年 3月 スパンクリート製造株式会社(旧社名)設立
資本金1,000万円 代表取締役社長 村山好弘就任
7月 資本金1億円に増資
- 1964年 2月 宇都宮第1工場屋外生産設備完備 試作開始 営業開始
- 1970年 10月 宇都宮第2工場建設完了 生産開始
- 1976年 5月 JISA6511(空胴プレストレストコンクリートパネル)
制定される
- 1982年 12月 宇都宮工場 JIS指定工場となる
- 1984年 3月 スパンクリート合成床工法 建設大臣認定を取得
7月 宇都宮第3工場生産設備完了 生産開始
- 1989年 5月 スパンクリート合成床工法 特許を取得
11月 資本金14億9,759万円に増資
11月 岩瀬工場建設完了 生産開始
- 1990年 2月 スパンクリート合成床工法 発明大賞受賞
- 1991年 2月 社名をスパンクリート製造株式会社から株式会社スパン
クリートコーポレーションに変更
4月 スパンクリート合成床工法 科学技術庁長官賞受賞
9月 株式を公開(店頭) 資本金32億3,459万円に増資
- 1992年 4月 当社代表取締役社長 村山好弘 黄綬褒章受章(スパン
クリート合成床の発明考案など業務精励)
- 2003年 8月 Jスラブ(組立床工法)財団法人日本建築センターの
構造評定を取得
- 2010年 7月 本社を文京区湯島に移転
11月 生産設備を宇都宮工場に統合
- 2013年 6月 東日本旅客鉄道(株)とホームドア設置用床の
共同特許取得
- 2015年 11月 コージェネレーションシステム導入
- 2018年 11月 PCa(プレキャストコンクリート)試験製造開始
- 2021年 4月 岩瀬プレキャスト(株)設立
- 2021年 6月 村山典子代表取締役社長就任
10月 本社を文京区本郷に移転
- 2022年 4月 JASDAQより東証スタンダード市場に移行

大株主

- 1 三菱商事株式会社
- 2 日本スパンクリート機械株式会社
- 3 村山典子
- 4 日鉄SGワイヤ株式会社
- 5 村山知子
- 6 市原敏隆
- 7 株式会社紀文食品
- 8 高石文夫
- 9 BANK JULIUS BAER AND CO. LTD. SINGAPORE
- 10 村上敏枝



宇都宮工場